

特集 子供の歯並び

Q 子どもの歯並びが悪くて心配しています。矯正はいつ頃から考えたほうがいいでしょうか？

A 早期治療として3~4才頃から使える治療器具もあります。歯並びの問題では7才までを目安に、お母様が「何かおかしいな」と思った時に受診すると良いでしょう。歯が正常な位置に並ばないのは顎が萎縮しているからです。放置していると顎は発育できません。お母さんがおかしいと思った時には何らかの問題があります。それらの障害を取り除いて正しい顎の育成をはかるべきです。犬歯が生え替わる前をひとつの目安にするとよいかもしれません。犬歯の位置を変更するのは少し時間がかかるからです。手遅れにならないよう、注意する必要があります。



Q 歯並びを直すことのメリットはなんでしょうか？

A 一番分かりやすいのは見た目ですね。歯並びを矯正することで、顔のバランスを直すことができます。見た目だけではありません。歯並びが悪いと将来、虫歯や歯周病を作りやすい状態になります。歯科矯正は予防歯科の1つです。歯並びがよくなると、歯が磨きやすくなるからです。



治療前



治療後

症例 1

口元が変わっただけでなく、顔が引き締まり、眼に力があることが感じられます。矯正治療をしたことによって、歯並びが正しくなり、噛む機能も向上し、上顎骨が発達しました。眼は上顎の上に乗っているのです。上顎骨が発育すると、顔がよりよくなるのです。



治療前



治療後

症例 2

夜寝る前に枕の上で下顎をのせる習慣のため、下顎が萎縮して発育が後退しています。下顎を前に出してやることによって元来のバランスの良い顔にもどります。歯科医の仕事は歯並びだけでなく、よい顔を育成することでもあるといえるかもしれませんね。

※症例掲載了承済み



歯に関する悩み・質問にママミーヤ誌面上でお答えします。

やまぐち歯科矯正
歯科医院

☎053-461-2906
浜松市中区佐藤2-25-26

院長 山口芳照 先生

インプラント、審美歯科、床矯正、ホワイトニングを得意とする。「自分がクライアント(患者)だったなら「受けたい」と思う歯科医療を提供する」が信条。

※質問すべてに回答するものではありませんのでご了承ください。尚、これにより得た個人情報については他に開示しないものとします。質問はメールにて受付。(E-mail dental@c-shopper.co.jp)まで。